

3611 地球のかおり 「以心伝心」(産経新聞)：状況

タイトルは、以心伝心。ラブラブ？
絶妙の名コンビ。

欧州、オーストリアでのワンシーン。
八十八日間欧州紀行の一コマ。
香港から始まり、ポーランド・ワルシャワへ。
旧共産圏のチェコやハンガリー、
スロバキアを探訪して、3週間後、オーストリアに入国。

旧共産圏は初訪問。ひとり旅。
緊張の連続だった。
スタートのポーランド、旅の初めに、襲われるという体験。
そんな背景の心理状態があった。
いささかトラウマに。

オーストリア入国。
眼前のラブラブシーンのおかげで、
いつもの旅のペースに戻ることが出来た。ほっとしたのは事実。

絶妙のカップルの光景、
素直にやすらぎを感じた。
一息つき、落ち着いてくると、ものが見える。

これまで見たことがない珍鳥。
名前も知らない出会い。初々しいしぐさ。
なんともユーモラスな表情。どう表現したらいいのだろう。
幸せそのもの。まさにラブラブ。
その動きが何とも楽しく面白く、時を忘れた。

ふと、今夜の宿はどうしたものか、脳裏をよぎる。

見渡すと、家は見当たらず、前は広大な沼。ここはすでにオーストリア。
治安もさほど悪くはなさそうな気配。

ポーランドでは、市場の窓が鉄格子でガードされていて驚いたものだ。

新聞スタンドも… 一言で治安が悪かった。

正直、取材どころではなかった。

治安の善し悪しは、ひとり旅には大きく影響する。

ここはオーストリア。その後、この国らしい宿も見つかった。

状況がわかって来た。

好奇心旺盛。いろいろ質問を投げかけた。

国立公園が近くにあるらしい。

地図や資料をもらった。

食後、スライドを交えた^{だんらん}団欒の場がある。

仲間に入りませんかと誘われた。

初対面だが一期一会。

オーストリアはモーツアルトの地である。

私は珍鳥ならぬ珍客。

何事も挑戦。出席させてもらった。

小冊子やスライドを交え、国立公園に生息する動植物や、

概要をいろいろ話してもらった。

学生時代、英語をかじっていたので少しは話せる。

アメリカからの客もいた。

一期一会のハプニング。この場合は大歓迎。旅の醍醐味の一つである。

いろいろな国の人との出会い。年齢も子供から大人まで。

片言だが、楽しい時間を過ごさせてもらった。

宿代も安く、居心地も良かったので、

翌日も、その翌日も、合計3泊もお世話になった。

そこを拠点に、アドバイスいただいた地や、
情報を頼りに、あちこち。
眼前の珍鳥が、運をくれたのかもしれない。感謝。
心楽しい時間を過ごさせてもらった。

この旅の先々に、いささか不安を感じていたが、
ものの見事に払拭された。
この先の旅に期待が持てそう。別モードにスイッチオン。実に単純。

第一印象は、その後の事を決めかねない。
人生の崖っぷちから見えるもの。
落ち着いた、静かな精神状態から見えるもの。
不安な状態から見えるもの、
心の有り様、心理状態で、見えるものを感じるものが違ってくる。

一人旅で、がんじがらめに予定を決めると、
旅が面白くなる。フリーハンド。
頭で確認する旅ではない。現場で体感する旅。気ままなひとり旅の良さを満喫。
不測の事態や厳しい側面に遭遇することもある。
長期の旅になれば、なおさらである。

このカップルの珍鳥、水辺に腰を下ろし、立ち去る寸前まで観察していた。
無駄なようで無駄でない時間。
裕福でなくても、心楽しい、そんな人生がある。

真っ直ぐに進むかと思えば、器用に左折、時には、150度回転。
取り舵一杯と方向が変わる。スイスイ、スムーズ、軌跡？も面白い。
我が身といえ、自由にあやつ操る。
水面下の見えない水かきは、どうなっているのだろう。
シンクロナイズスイミングを思い浮かべる。

さらに、感心したのは、パートナーも自然体で寄り添うように、
一体のように移動する。その距離感が実にお見事。

素晴らしい。息がぴったりなのである。

ダンス大会なら優勝だろう。

鳥たちや動物のペアーをよく見かけるが、これほどの夫唱婦随、
見たことがない。この光景には脱帽。愛が充満。

喜びだけが人生ではない。

しみじみ感じる瞬間。哀感もまた楽しいかもしれない。

心の余裕、心の有り様で、旅はいろいろなことを気づかせてくれる。

旅はセンチメンタルにもする。

ひとり考えていると、過ぎたことをあれこれ、

昔のままの感情が、胸にわっとよみがえる。

何かのきっかけでそうしたことがある。いま、そんな時。

どれだけ時間が経ったのだろう。

まだ、以心伝心の光景が、眼前で展開されている。

そして、こんな思いが浮かんだ。ラブラブカップルの動きは、ダンスのよう。

ふと、四分の三拍子、円舞曲、ウインナーワルツ、

次に、モーツァルトが思い浮かんだ。

数日、ウイーンには、滞在の予定がある。

美術館や書店、コンサート。

オープンカフェで、行き交う人をながめ、楽しく夢想。

そして、美味しい一杯のカフェオーレ。素敵なコンサート、幕間に一杯。

厳しい後だっただけに、ほっとしている。

自然や可愛い生きものには癒される。

名もなきラブラブさんのカップルさん、ありがとう。

あなた方に、偶然、会えただけで、落ち着き、元気が出ました。

八十八日間のひとり旅、無事帰国。いまは、心の財産。